

会 議 録

□全部記録

1 会 議 名	姫路市地域医療連絡会議（令和6年度）
2 開催日時	令和7年2月18日（火曜日） 18時00分～19時30分
3 開催場所	姫路市防災センター5階 災害対策本部会議室
4 出席者又は欠席者名	委員13名、オブザーバー6名 計19名（内、欠席者2名）
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 傍聴人数0名
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 議題<ol style="list-style-type: none">(1) 姫路市の救急医療方策に関する指針の進捗状況について(2) #7119の運用状況について(3) 画像送信システムを活用した救急搬送円滑化に係る実証実験について(4) マイナ救急実証事業について(5) JOIN（医療関係者間コミュニケーションアプリ）について(6) その他3 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

	<p>1 開会 (18 : 00)</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 姫路市の救急医療方策に関する指針の進捗状況について 資料 1 <事務局より資料に沿って説明を実施></p>
座長	<p>小児科の外傷対応について、#7119 や HEARTS の活用により、外科の輪番医師が対応するようになり、少し改善していると伺っているがいかがか。</p>
A オブザーバー	<p>当院の場合、1 次救急案件というより、1.5 次救急案件を受ける必要があると感じているが、外傷でもちょっとした傷の相談などが多い。以前より言っているとおり、外傷にも対応可能なセンターが必要ではないかと感じている。</p>
座長	<p>#7119 により、少し改善していると聞いているが、まだまだそのような実感はないということか。</p>
A オブザーバー	<p>特に軽度の外傷については、当院に来院する頻度は高いと感じている。</p>
A 委員	<p>#7119 より軽症外傷の患者を案内しているのは、遅くまで開いている外科や、外科輪番の病院と伺っている。地域にあるリソースを活用し、何とか稼働しているように感じていた。医師会の災害救急委員会でも、休日・夜間急病センターでの軽症外傷に対応するため、縫合セットの準備などについて議論しているが、対応は難しいように感じている。引き続き、#7119 をはじめとした姫路にあるリソースを活用し、何とか対応できないかと考える。</p>
座長	<p>現在、休日・夜間急病センターのあり方検討会なども実施しており、今回議論となった課題も含め、今後、姫路市の救急医療をどのように良くしていくか検討されていくものと考えている。</p>
A 委員	<p>休日・夜間急病センターの執務医師の確保のため、神戸大学に姫路市医監と一緒に行かせていただいた。その中で、同センターが準夜帯の宿日直許可が出ていないことが話題になった。</p> <p>現在の状況では、厳密に解釈すると同センターに執務した翌日は午前中しか業務をできないということになってしまい、その部分が課題ではないかと意見を受けている。</p> <p>現時点での運用では、個々の解釈にゆだねられていることから大きな問題は生じていないが、今後、医師の働き方改革が進んでいくと執務医師の確保が難しくなってしまう。そのため、オンライン診療などの導入を含め、あり方について検討を進めているところだ。</p>
	<p>(2) #7119 の運用状況について 資料 2 <事務局より資料に沿って説明を実施></p>
座長	<p>今年の年末年始については、インフルエンザが流行し、休日・夜間急病センターにおいても例年になく混雑が生じ、市民の方からもご意見をいただいて</p>

<p>A オブザーバー</p>	<p>いる状況だ。今回説明いただいた#7119 などを活用し、この部分についても改善を進めていきたいと考えている。</p> <p>#7119 については、今後全県展開も予定されていることから、これらのことについて意見はないか。</p> <p>当院は電話での問い合わせが非常に多かったが、#7119 を導入して以降、相談件数は約 2/3 に減少している。</p> <p>その中で、#7119 が案内した医療機関の内、実際にどの病院に患者が受診したかなどの全体像について実態把握できれば、今後の方向性を検討する上で良いのではないかと考えている。</p> <p>また、内科については、#7119 を経由して受診した患者についても、一次救急案件が多いように感じている。電話相談となるため、どうしてもオーバーフローが生じてしまうことは理解できるが、その部分についてももう少し改善いただければありがたいと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>外科系一次救急については、外科輪番に案内するよう業者に指導しているが、外科輪番の担当割当てのない日もある。そのような日については、基幹病院への負担が生じていることは認識しており、外科輪番の担当割当ての空白をなくすよう医師会と連携して対応する必要があると理解している。また、内科については、特に今年の年末年始は休日・夜間急病センターがオーバーフローしてしまった関係から、二次救急の医療機関に負担が生じてしまったものと理解しており、救急医療協会、医師会と連携しながら対応を検討したいと考えております。</p>
<p>B オブザーバー</p>	<p>休日・夜間急病センターの開院時間が 20 時 30 分からとなっており、クリニックなどが閉院する時間が 17 時 30 分となっており 3 時間ほど空白が生じている。特に年末年始などは、休日・夜間急病センターがオーバーフローしていたことから当院への受診も多かったため、当院の小児科医も対応に苦慮したと聞いている。</p> <p>基本的には問題ないと感じているが、この空白時間については、今後どのように対応していく予定か。</p>
<p>B 委員</p>	<p>難しい問題で解決策がなかなか見つかっていない状況だ。引き続き、検討して参りたいと考えている。</p>
<p>座長</p>	<p>来年度も 9 連休となることから対応が必要と認識している。</p>
<p>B オブザーバー</p>	<p>おそらく、内科や外科は問題ないが、小児科や整形外科など医師が少ない診療科が問題となるのではないかと考えている。</p>
<p>C 委員</p>	<p>県としても、各地で休日の医療体制の構築に苦慮していると伺っている。この部分については、なかなか妙案はなく、簡単に解決できる問題ではないと理解している。</p>
<p>座長</p>	<p>電話相談より案内を行う時間についても、閉診時間などを意識して案内す</p>

	<p>る必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>事務局としても業者に対し、そのように指導していきたい。</p> <p>(3) 画像送信システムを活用した救急搬送円滑化に係る実証実験について 資料3</p> <p><事務局より資料に沿って説明を実施></p>
D 委員	<p>救急隊と医療機関のアンケート結果を比較すると、このシステムの有用性について温度差があるように感じるがどうか</p>
事務局	<p>今回の実証実験について、市と医療機関の活用意図が少し違った部分があったため、このような結果になっていると考えている。市消防局としては、重症例での活用というよりは、軽症例の対応について分散搬送を行うために、医療機関に受入れ可能か画像で判断していただくことを目的に使用しているため、このような結果になっていると考えている。</p>
A 委員	<p>今後の展望についても、各者の認識に相違があるように見えるがどうか。</p>
事務局	<p>今回は 3 次救急医療機関に搬送するような重症例での活用というよりは、分散搬送のために 2 次救急医療機関でも対応が可能な案件かを画像で確認・判断することに焦点を当てた実証実験となっている。そのため、受入れ交渉時に医療機関側が画像を確認できる環境下である必要があり、その部分が今回の結果に反映されているのではないかと考えている。</p>
座長	<p>このシステムについて、今後も経過を確認してほしい。</p> <p>(4) マイナ救急実証実験について</p> <p><事務局より資料に沿って説明を実施></p>
座長	<p>先ほどの画像送信システムに加え、このシステムの活用についても今後、非常に有用となると考えているが、何かご意見はあるか。</p>
E 委員	<p>救急搬送時は医療機関で行っているような顔認証などの作業は不要なのか。</p>
事務局	<p>消防庁のルールとして、救急車内だと、薄暗く判別が難しいことから、本人確認を救急隊が目視で確認し利用できるようになっている。</p> <p>(5) JOIN(医療関係者間コミュニケーションアプリ)について 資料4</p> <p><兵庫県立はりま姫路総合医療センターより資料に沿って説明を実施></p>
座長	<p>このシステムについて導入している医療機関よりご意見はあるか。</p>
C オブザーバー	<p>このシステムを当院も導入しているが、導入目的は、SCU(脳卒中集中治療</p>

<p>D オブザーバー</p>	<p>室)の人員確保だった。このシステムを導入することにより本来であれば、卒後 8 年目以降の医師でなければいけなかったが、卒後 6 年目以降の医師より対応可能となるためだ。</p> <p>システムとしては良いものと考えているが、手間が多いシステムと感じている。</p> <p>当院では導入を行ったところで、消化器内科や呼吸器内科の医師に利用いただいております、その中でも遠方に住んでいる医師に利用希望を確認して利用させている。</p> <p>本来は医療機関間の利用を想定しているものかと考えているが、使いにくいという話を伺ういかがなものかと考えている。</p>
<p>A オブザーバー</p>	<p>当直医が専門でない場合、放射線科の医師に画像を確認いただけるため、良いものと理解している。</p>
<p>F 委員</p>	<p>当院も 10 年位前に導入したが、汎用性が全くないと感じている。</p>
<p>A 委員 座長</p>	<p>当院でもひと手間係る部分があるため、導入しても広がらない状況だ。</p> <p>医師間のツールとして、訪問看護ステーションなど様々な場面で拡張性があるように考えていたが、全体的には厳しい意見が多いように感じる。</p>
<p>G 委員</p>	<p>(6) その他について</p> <p>#7119 の広報について、今後どのように実施していくのか。</p> <p>また、#7119 に関する医療機関へのアンケートについても、各医療機関の声を拾うという意味でも実施いただければと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>広報については、各世代を対象に網羅的な広報を展開していきたいと考えている。</p>
<p>E 委員</p>	<p>周辺の他市町村はこのような会議を実施しているのか。他都市からも姫路市の医療機関へ救急搬送されていることも多いと考えられるため、他都市へも問い合わせを行ってほしいと考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>姫路市は中核市ということでこのような会議を実施している経緯がある。周辺市町については、県が中心となり同様の会議を実施している状況だ。しかし、急病センターの稼働時間の違いなど行政側からも意見を伝えていきたいと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>休日・夜間急病センターの眼科については、周辺市町の医師にも執務に参加していただいているなどの連携もある。</p> <p>また、各地域においても可能な限り、地域で医療が完結できるよう努力している状況もあるため、ご理解いただければと思う。</p>
<p>3 閉会 (19:27)</p>	

--	--